

「平成30年度 全国学力・学習状況調査結果」の概要

1 全国学力・学習状況調査の実施状況

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 学力調査の実施日

平成30年4月17日（火）

(3) 岡山県の実施人数（国・公・私立の合計）

	小学校【対象：第6学年】	中学校【対象：第3学年】
県受検者数	16,497人（386校）	16,491人（164校）
全国受検者数	1,043,420人（19,583校）	1,008,090人（10,040校）

2 学力調査の結果（過去5年間の推移）

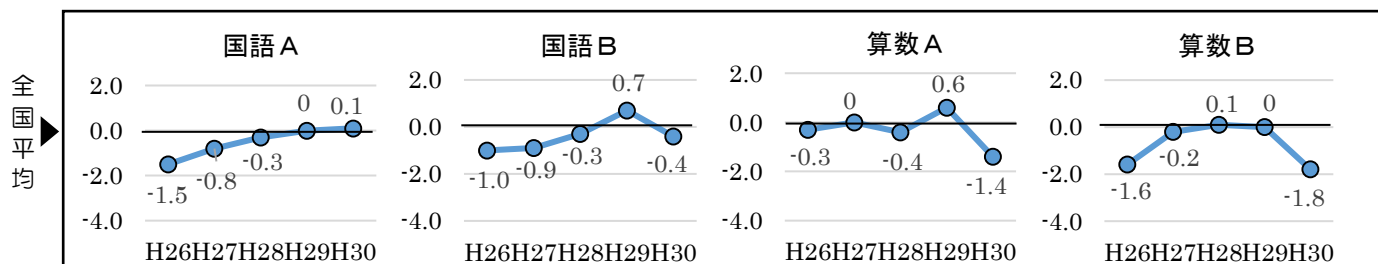
- 下表中の「差」は、全国と岡山県の平均正答率の差。順位は、公表された整数値に基づいて算出。

【小学校】

(1) 平均正答率 [%] 【H30 中段の「※県」は、岡山市を除く正答率を示す。】

年度		国語A			国語B			算数A			算数B			理科			国算計	
		正答率	差	順位	正答率	差	順位	正答率	差	順位	正答率	差	順位	正答率	差	順位	差	順位
H30	全県	70.8	0.1	18	54.3	-0.4	27	62.1	-1.4	33	49.7	-1.8	31	60.1	-0.2	24	-3.5	31
	※県	70.5	-0.2		53.6	-1.1		62.1	-1.4		48.9	-2.6		59.6	-0.7		-5.3	
	全国	70.7			54.7			63.5			51.5			60.3				
H29	全県	74.8	0.0	21	58.2	0.7	15	79.2	0.6	19	45.9	0.0	12				1.3	19
	※県	74.3	-0.5		57.4	-0.1		79.2	0.6		44.9	-1.0					-1.0	
	全国	74.8			57.5			78.6			45.9							
H28	全県	72.6	-0.3	27	57.5	-0.3	29	77.2	-0.4	27	47.3	0.1	15				-0.9	25
	全国	72.9			57.8			77.6			47.2							
H27	全県	69.2	-0.8	34	64.5	-0.9	31	75.2	0.0	21	44.8	-0.2	23	59.9	-0.9	34	-1.9	28
	全国	70.0			65.4			75.2			45.0			60.8				
H26	全県	71.4	-1.5	38	54.5	-1.0	32	77.8	-0.3	29	56.6	-1.6	38				-4.4	38
	全国	72.9			55.5			78.1			58.2							

(2) 全国平均と岡山市を含む県全体の平均の差の推移

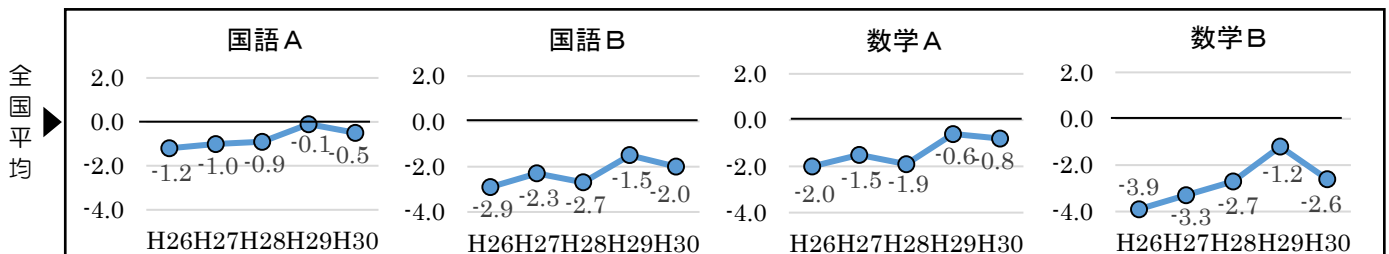


【中学校】

(1) 平均正答率 [%] 【H30 中段の「※県」は、岡山市を除く正答率を示す。】

年度	国語A			国語B			数学A			数学B			理科			国数計		
	正答率	差	順位	正答率	差	順位	正答率	差	順位	正答率	差	順位	正答率	差	順位	差	順位	
H30	全県	75.6	-0.5	20	59.2	-2.0	39	65.3	-0.8	28	44.3	-2.6	41	65.6	-0.5	21	-5.9	40
	※県	75.6	-0.5		59.2	-2.0		65.2	-0.9		44.1	-2.8		65.4	-0.7		-6.2	
	全国	76.1			61.2			66.1			46.9			66.1				
H29	全県	77.3	-0.1	27	70.7	-1.5	34	64.0	-0.6	23	46.9	-1.2	29				-3.4	34
	※県	77.6	0.2		71.0	-1.2		64.2	-0.4		47.1	-1.0					-2.4	
	全国	77.4			72.2			64.6			48.1							
H28	全県	74.7	-0.9	37	63.8	-2.7	42	60.3	-1.9	36	41.4	-2.7	40				-8.2	41
	全国	75.6			66.5			62.2			44.1							
H27	全県	74.8	-1.0	38	63.5	-2.3	43	62.9	-1.5	39	38.3	-3.3	43	51.5	-1.5	37	-8.1	41
	全国	75.8			65.8			64.4			41.6			53.0				
H26	全県	78.2	-1.2	39	48.1	-2.9	43	65.4	-2.0	41	55.9	-3.9	45				-10.0	42
	全国	79.4			51.0			67.4			59.8							

(2) 全国平均と岡山市を含む県全体の平均の差の推移

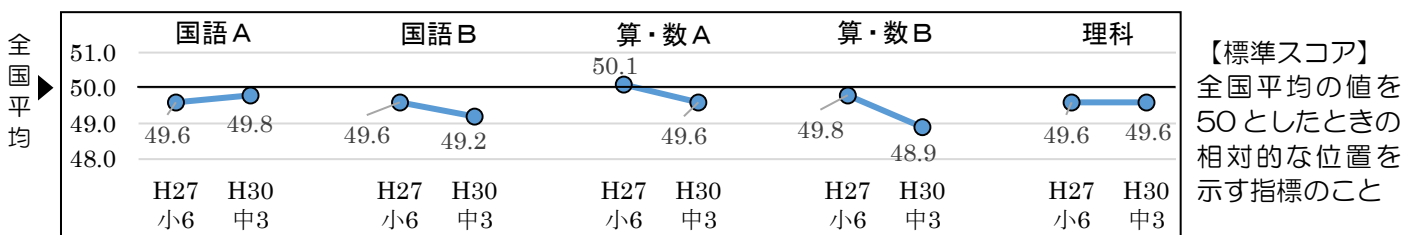


- 小学校においては、国語 A では全国平均を上回ったものの、他科目では全国平均を下回り、特に算数では A 問題、B 問題ともに全国平均との差が大きい。
- 中学校においては、依然として全科目で全国平均を下回っている。また、いずれも昨年度と比較し全国平均との差が拡大した。

学力調査の推移【同一集団の標準スコアの推移：H27 小6 → H30 中3（岡山市を含む県全体）】

小学校	H27年度	国語A			国語B			算数A			算数B			理科		
		標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位
小6	県	49.6	-0.4	34	49.6	-0.4	31	50.1	0.1	21	49.8	-0.2	23	49.6	-0.4	34

中学校	H30年度	国語A			国語B			数学A			数学B			理科		
		標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位	標準スコア	差	順位
中3	県	49.8	-0.2	20	49.2	-0.8	39	49.6	-0.4	28	48.9	-1.1	41	49.6	-0.4	21



【標準スコア】
全国平均の値を50としたときの相対的な位置を示す指標のこと

平成 27 年度の小学 6 年生が、今年度の中学 3 年生であり、同一集団の推移を見ると、小学 6 年時より国語 A については全国平均との差が縮まったものの、国語 B では-0.4 ポイント、算・数学 A では-0.5 ポイント、算・数学 B では-0.9 ポイントといずれも差が拡大した。

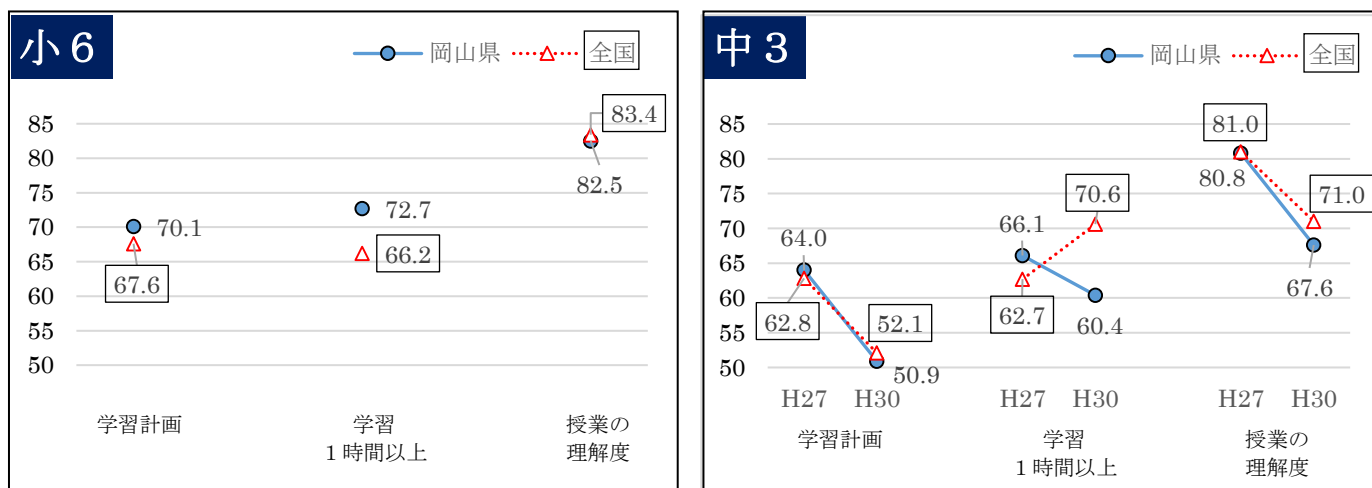
3 学習状況調査の結果

- 児童生徒質問紙は、児童生徒一人一人が回答し、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査である。

【質問項目】

- 1 自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学習計画)
- 2 学校の授業時間以外に、平日1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習1時間以上)
- 3 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。(授業の理解度)

各学年の学習状況調査結果における肯定的回答の割合 [単位：％]



○小学校においては、「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合や、「学校の授業時間以外に1時間以上勉強している」と回答した割合が全国平均を上回っている。また「授業がよく分かる」と回答した割合も8割を越えている。

○中学校においては、小学校6年時に全国平均を上回っていた「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合と、「学校の授業時間以外に1時間以上勉強している」と回答した割合が、全国平均を下回り、小学校段階で培った家庭での学習習慣が維持できていない。また、「授業がよく分かる」と回答した生徒の割合が、小学校6年時と比較して大きく減少しており、授業改善を進めることが必要である。

4 これまでの取組の成果と課題

【学力状況】

- ・小学校では、全国平均と比較し、国語Bについては-0.4%、算数Aについては-1.4%、算数Bについては-1.8%と、国語Aをのぞく科目で全国平均を下回っており、示された情報を解釈し、それに基づいて判断したり発展的に考えたりする設問等、既に習得した知識や技能を活用して解決を図る設問に課題がある。
- ・中学校では、全ての教科で全国平均を下回っており、文章のあらすじを捉え相手に的確に伝わるように書く設問や、事柄が成り立つ理由を構想し数学的に説明することに課題がある。

【学習状況】

- ・小学校では、宿題プラス自主学習の取組が定着したことにより、望ましい学習習慣が身に付きつつあるが、その成果が十分には中学校に引き継がれていない。
- ・中学校では、昨年度より「Stop! スマホ Start! スタディ!」等の取組を実施しているが、小学校6年時と比較して、学習計画を立てて勉強をしている割合や、平日1時間以上勉強する生徒の割合が減少している。生徒自身が意欲を持って家庭学習に取り組むことにつながる授業改善が必要である。

5 今後の取組

県教委の取組

【取組の検証・点検】

- ・結果分析やこれまでの取組の検証を行い、2学期以降の取組の補強・充実を図る。

【学力定着状況の把握】

- ・2学期に市町村や学校において、課題が見られた設問の改善状況や学習の定着を把握する取組が実施されるよう徹底する。

【学力定着状況を踏まえた指導改善】

- ・県全体や市町村で課題が見られた設問に関する指導資料等を作成し、指導主事を派遣するなど、指導の改善を図るよう徹底する。

【授業改善の推進】

- ・岡山型学習指導のスタンダードに基づいた授業づくりを全ての教員が確実に実施するよう、市町村教委へ指導助言を行う。
- ・個に応じたプリントを作成できるWeb評価支援システムの活用や、成果を上げている学校・学年の取組の普及を図る。
- ・国の学力調査官等を招聘し、授業の質的向上を目指した、授業公開等の取組を促進する。

【望ましい学習習慣確立の支援】

- ・「Stop!スマホ Start!スタディ!」や、家庭学習につながる授業改善の一層の促進を図るよう、学習習慣形成事業等の好事例について、学力向上フォーラムでの報告、通信やHP等を通じて各学校への普及を図る。

各学校の取組

【取組の検証】

- ・自校の結果分析や、これまでの授業改善等の取組の検証・方向性の確認を行い、2学期以降の取組の改善プランを作成する。

【授業改善の推進】

- ・校長が毎日授業参観し、教員にフィードバックするとともに指導教諭等の中核教員が、積極的な情報収集や授業公開を行うなど、OJTの充実を図る。
- ・作成した改善プランを踏まえ、課題が見られる設問の改善状況や学習の定着を2学期に把握し、指導の改善に努める。
- ・県教委作成の指導資料を活用するなど、技能活用型の授業について理解を深め、授業改善を進める。

【個に応じた指導の徹底】

- ・県教委作成の教材やWeb評価支援システムを効果的に活用するなど、児童生徒のつまずき状況を把握し、中下位層の課題解消を図り、学習の定着を図る。

【望ましい学習習慣の形成】

- ・「Stop!スマホ Start!スタディ!」等により、生徒が時間を管理する力を高める取組や、PTAと連携した家庭内でのルールづくりを更に推進する。
- ・小学校で身に付けた学習習慣を中学校に継承するため、小中連携の場において家庭学習における学習時間の目安、課題の質と量、適切な点検と評価、方法等についても協議をする。

【参考】市町村別の状況

※ 学力調査の結果 平均正答率(教科別)

名称	小学校6年生					中学校3年生				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国(公立)	71	55	64	52	60	76	61	66	47	66
岡山県(公立)	71	54	62	50	60	76	59	65	44	66
1 岡山市教育委員会	71	55	62	51	61	76	59	65	45	66
2 倉敷市教育委員会	71	55	63	50	60	74	57	64	41	64
3 津山市教育委員会	68	51	60	45	58	74	55	61	40	62
4 玉野市教育委員会	70	54	61	48	61	76	58	65	45	66
5 笠岡市教育委員会	73	55	65	50	59	76	58	64	43	65
6 井原市教育委員会	73	55	67	52	60	74	56	62	39	64
7 総社市教育委員会	72	55	63	50	61	76	61	67	46	69
8 高梁市教育委員会	70	52	58	46	57	78	60	69	46	69
9 新見市教育委員会	74	55	63	49	62	75	59	64	44	65
10 備前市教育委員会	69	49	59	48	57	74	59	64	44	65
11 瀬戸内市教育委員会	68	53	62	49	59	76	61	65	45	65
12 赤磐市教育委員会	70	52	61	46	58	75	58	64	43	64
13 真庭市教育委員会	70	53	62	49	61	77	60	64	41	63
14 美作市教育委員会	70	52	63	48	60	77	60	62	42	65
15 浅口市教育委員会	72	55	64	51	61	74	57	63	43	63
16 和気町教育委員会	69	52	60	49	57	79	62	70	49	69
17 早島町教育委員会										
18 里庄町教育委員会	70	53	61	52	60					
19 矢掛町教育委員会	74	57	64	54	60					
20 新庄村教育委員会										
21 鏡野町教育委員会	63	51	57	47	56					
22 勝央町教育委員会	70	53	59	46	59					
23 奈義町教育委員会										
24 西粟倉村教育委員会										
25 久米南町教育委員会	69	54	66	50	59					
26 美咲町教育委員会	69	50	62	45	59	75	57	60	40	62
27 吉備中央町教育委員会	71	55	57	48	61					
28 笠岡市・矢掛町中学校組合										
29 県立学校						92	84	91	84	88

※ 斜線の町村は、該当の学校が1校のため、公表の対象としない。

※ 県立特別支援学校(小学部)は、受検者が少数であるため、公表の対象としない。

※ 県立学校には、県立特別支援学校(中学部)、県立中学校・中等教育学校が含まれる。